

DAiDORI
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

第93回 定時株主総会

株式会社ダイドーリミテッド

平成28年6月29日



DAiDORI
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

第93回 定時株主総会

株式会社ダイドーリミテッド

平成28年6月29日



当連結会計年度の事業環境

日本経済

● 緩やかな回復

(企業業績向上や、雇用情勢の改善の動きなど)

→ 依然として先行き不透明な状況

(中国をはじめとする海外経済の下振れへの警戒感などの影響から)

衣料品業界

● 厳しい状況下

景気回復の期待感はあるものの、全体の消費マインドの改善は見られず、円安により輸入コストが上昇

当連結会計年度の主な取り組み

「お客様第一」「品質本位」の基本理念の基、
経営の効率化を推進



衣料事業

- 中国工場の事業構造改善を実施し、製造体制の再構築を推進
- 販売部門では、主要店舗のリニューアルやEコマース等の販売経路拡充などをはかる
- OEM(取引先ブランド製造卸)は、新規取引の開拓に注力し、効率化を推進

当連結会計年度の主な取り組み

「お客様第一」「品質本位」の基本理念の基、
経営の効率化を推進



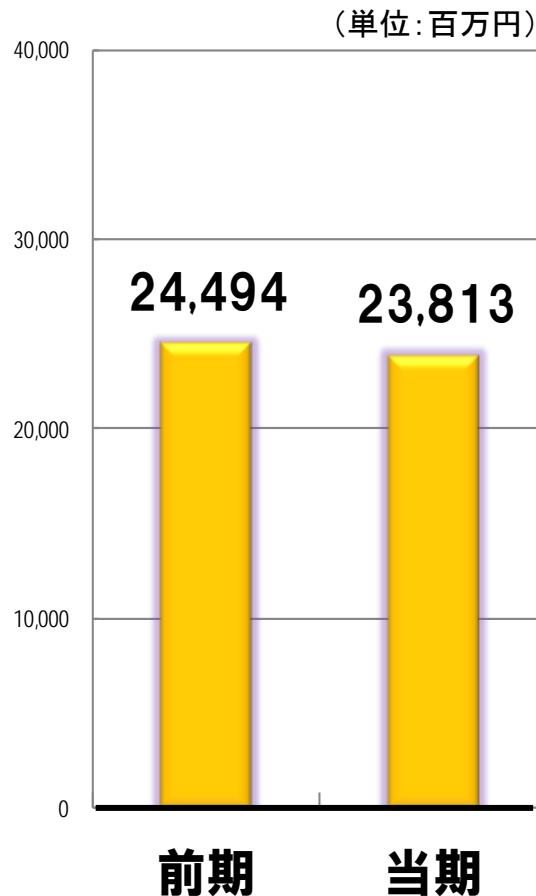
不動産賃貸事業

小田原 商業施設
「ダイナシティ」

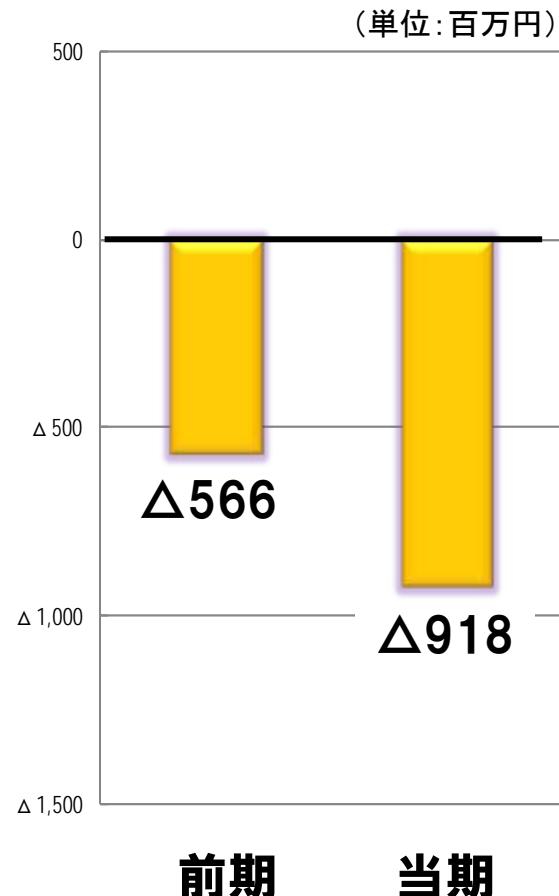
地域に密着したSCとして年間を通して
イベント開催などを行い、今後の収益力
向上にむけてウェスト館のリニューアルを
開始いたしました。

連結業績

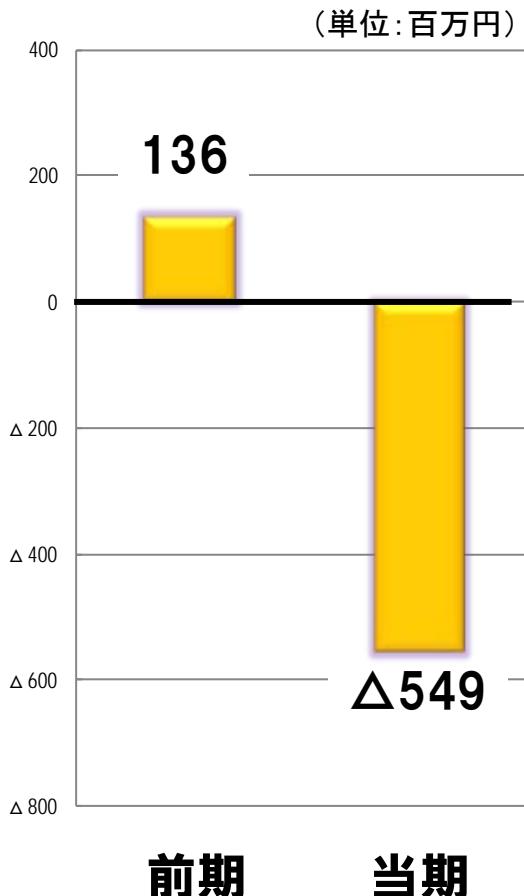
売上高



営業利益

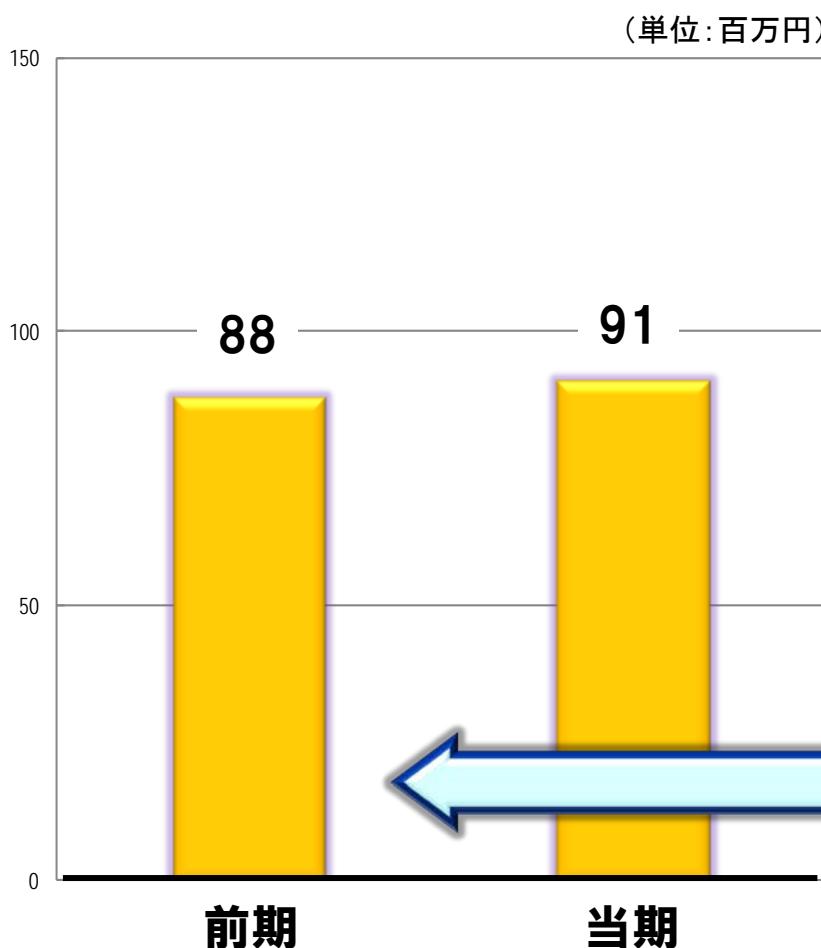


経常利益



連結業績

■ 当期純利益



【当期】

- 特別利益 1,703百万円
 - 投資有価証券売却益
 - 固定資産売却益 等
- 特別損失 193百万円
 - 固定資産除売却損
 - 減損損失 等

【前期】

- 特別利益 1,436百万円
- 特別損失 668百万円

各事業の概況（連結）

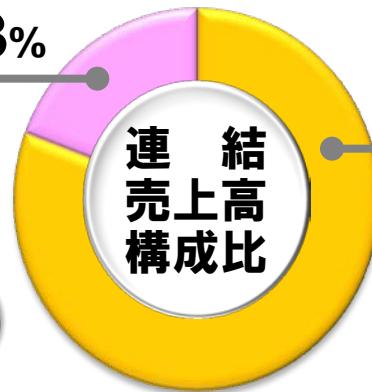
不動産賃貸事業

4,395百万円



18.3%

81.7%



衣料事業

19,615百万円



*写真は、ニューヨーカー 2016春夏コレクションより

募集ご通知

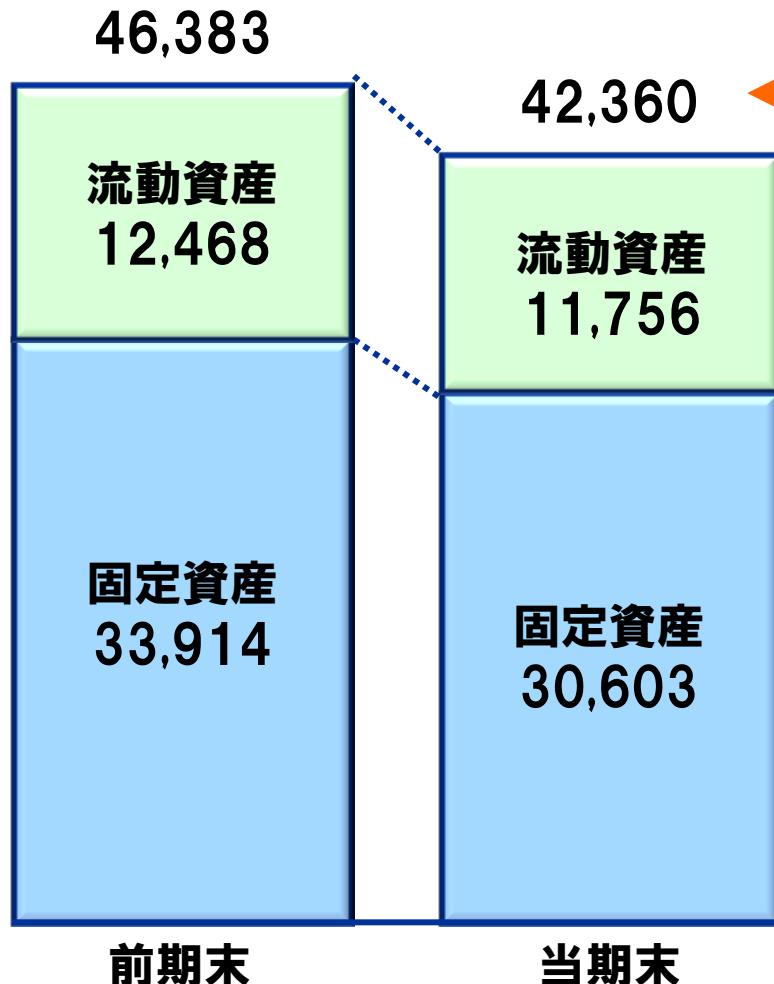
→ P5~22

その他の現況

- 直前3事業年度の財産および損益の状況 P5
 - 重要な子会社等の状況 P6
 - 主要な事業内容 P9
 - 主要な営業所および工場 P9
 - 使用人の状況 P10
 - 主要な借入先の状況 P10
 - 株式の状況 P11
 - 新株予約権等の状況 P12-13
 - 会社役員の状況 P14-17
 - 会計監査人の状況 P18-19
-
- 業務の適正を確保するための体制
および当該体制の運用状況 P20-22

連結貸借対照表【資産の部】

(単位:百万円)



総資産

前期末比 △4,023百万円

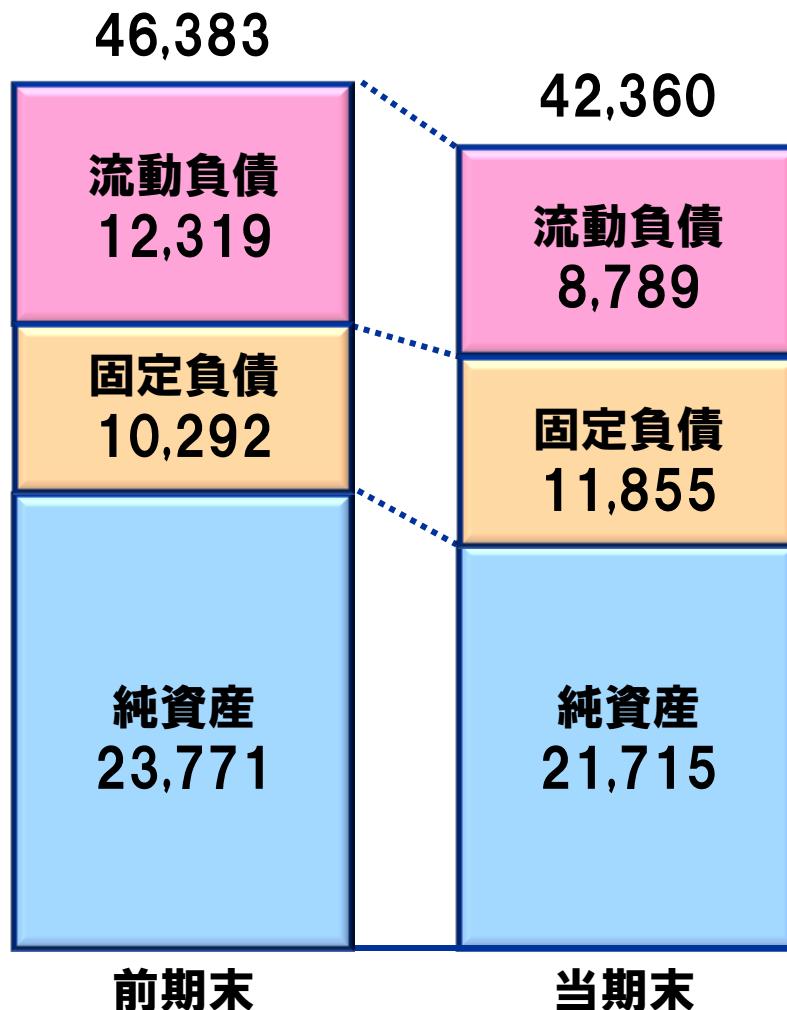
前期末比 △712百万円

前期末比 △3,310百万円

- 有形固定資産: 8,941百万円
(前期末比 △1,355百万円)
- 投資その他の資産: 21,065百万円
(前期末比 △1,679百万円)

連結貸借対照表【負債・純資産の部】

(単位:百万円)



負債合計
前期末比 $\Delta 1,967$ 百万円

純資産
前期末比 $\Delta 2,056$ 百万円
自己資本比率: 50.8%
(前期末比 $\Delta 0.1$ ポイント)

その他

招集ご通知
➡ P24～43

連結損益計算書

招集ご通知
P24

連結株主資本等変動計算書

招集ご通知
P25

連結注記表

招集ご通知
P26～35

個別業績

招集ご通知
P36～43

ダイドーグループの対処すべき課題

市場環境

依然として不透明な、厳しい状況

ダイドーグループの今後の経営方針

『お客様第一』『品質本位』の基本理念のもと、
製造から販売まで品質を追求できる総合力を活かし
将来に向けての事業の見直しと再構築をはかり、

ダイドーグループの対処すべき課題

市場環境

依然として不透明な、厳しい状況

ダイドーグループの今後の経営方針

「領域」「信用」「効率」をキーワードに
利益体質の構築を推進

中長期の視点で さらなる利益を生み出せる 企業グループに進化

新しいビジネス
の発展

魅力的な
製品・サービス
の創出

人材・ブランド
の育成

社会への貢献

① 中国製造工場

より付加価値を生み出せる企業への転換を目指し、
経営体制の抜本的な改革を推進



2016年3月期は
固定資産の譲渡手続きが完了し、
適正規模への縮小を進める

具体的な取り組み

① 中国製造工場

より付加価値を生み出せる企業への転換を目指し、経営体制の抜本的な改革を推進



- 今後も市場が求める製品を提供
⇒ 製造体制の再構築
- 欧米の高級ブランド、高級百貨店向け製品の受注増加 ⇒ 稼働率の向上

品質競争力・コスト競争力の向上へ

具体的な取り組み

募集ご通知
→ P7~8

② パターンメイド事業の強化



オーダースーツストア
MILLION CLUB

～メンズ・ウィメンズ商品を工場から
お客様にダイレクトにお届けする～



ミリオンクラブ東京

働く女性のための「ミリオンクラブクラス」として、
ウィメンズアイテムの取り扱いを充実

募集ご通知
➡ P7~8

具体的な取り組み

② パターンメイド事業の強化



オーダースーツストア
MILLION CLUB

NEWYORKER
「ニューヨーカー」ブランドの
パターンメイド



日本・中国・欧米向けオーダーの受注を含め
販売経路の拡充による着実な成長を目指す

具体的な取り組み

③「ニューヨーカー」ブランドの価値向上

NEWYORKER

銀座フラッグシップショップを活用したイベント開催や販促活動によりブランド価値をさらに高め、確固たる地位の確立と顧客満足度の向上に注力



具体的な取り組み

③「ニューヨーカー」ブランドの価値向上

NEWYORKER ~国内施策

日本においてはオンラインストアのさらなる拡充をはかる

メンズ

ビジネスアイテムを中心に
プレミアム感の向上

ウィメンズ

多様化する顧客の志向に対応し
既存顧客との関係強化とともに
新たな顧客の獲得



銀座フラッグシップショップ

具体的な取り組み

③「ニューヨーカー」ブランドの価値向上

NEWYORKER ~海外施策（中国を中心としたアジア市場）



- ① 日本でのマーケティングと連動して
ブランド認知度を高め、
ブランド価値の確立を図る
- ② 商品と店舗の見直しを行いながら
収益性向上を目指す



募集ご通知
→ P7~8

具体的な取り組み

④ 新ブランド「ニューヨーカー ブルー」

NEW YORKER BLUE

既存店舗の強化と新規店舗の
オープンにより地域顧客の獲得に
注力し、新たなブランドとして
収益構造の確立を目指す



原宿の旗艦店や各種媒体を発信
源としてトラッド・スタイルを提案

具体的な取り組み

⑤ 不動産賃貸事業

【小田原ダイナシティ】

ウエスト館のリニューアルを開始

引き続き地域密着・地域共生
という原点を大切にしながら、
地域を牽引するライフスタイル
発信拠点を目指す



施設全体の魅力アップ

募集ご通知
➡ P7~8

ダイドーグループの対処すべき課題

CSR（企業の社会的責任）

コンプライアンス（法令遵守）

ステークホルダーとの良好な関係構築

コーポレート・ガバナンス（企業統治）

募集ご通知
➡ P7~8

ダイドーグループの対処すべき課題

経営の透明性

株主・投資家の皆様に対する迅速かつ正確な情報開示

企業情報の共有化

個人情報の保護

全役員・従業員への継続的な啓発

DAÏDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

第93回 定時株主総会

株式会社ダイドーリミテッド

平成28年6月29日

